

仮宿地区復興まちづくり協議会・地権者連絡会 議事要旨

記

- 日時 平成 26 年 12 月 18 日（木）18 時 30 分～19 時 30 分
- 場所 鵜住居公民館仮宿分館
- 次第
 1. 市長からの挨拶
 2. これまでの経緯
 3. 土地利用計画について
 4. 防潮堤整備について
 5. 事業実施スケジュール
 6. 意見交換

以前の防潮堤説明会の際に、タブノキは切るようになっていたはずだが、木があると不便である。

→ タブノキを切っていいか改めて復興まちづくり協議会の場でご意見を伺いたいとの考えです。計画では最低限 2 本は切る予定です。

道路を整備することが第一優先である。タブノキは他の地域では珍しいかもしれないが、仮宿地区ではこの道路以外でも群生している。2 本残すことに事業費が数億円かかることは現実的でない。人の命の方が大事である。

→ この場所のタブノキは保全する木として指定されていません。2 本切ることで同意いただいたので事業を進めます。

船上げ場の施設整備はどうなるか？

→ 船底があたらないように平場に高さを合わせて整備します。現状では、石積みと なっていますが、整備にあたっては、石積みの職人がいないため、コンクリートで整備し、滑り材で覆います。コンクリート敷きを今より海側まで伸ばして段差を解消し、船の底が傷つかないようにします。

→ 巻き上げ機は市で復旧します。

避難路はどう整備するのか？工事が終わっても残すのか？

- 新防潮堤の工事に伴い仮設道路の扱いで整備します。勾配が16%と急な坂もありますが、幅員4mの表面舗装で整備します。
- 仮設道路扱いなので、残すことについては、地元との意見交換及び市内部の調整により、今後、判断されることとなります。

漁港からの避難路として、既設道路（P6 図中黒点線）を使うことになるが、現状で崩れている所がある。少し手を加えれば、使えるので直してほしい。

- 現地を確認いたします。

既設道路（P6 図中左側の灰色太線）で水路のグレーチングが痛んでいる。落ちそうな状況で危ない。

広場の近くの鉄板を敷いているところも危ない。

- 現地を確認して対応します。水路内も破損がないか確認します。（建設課で対応）
- 鉄板を敷いているところは、防潮堤工事の整備に併せて対応します。（水産課で対応）

市道（P6 図中緑色）は、仮設道路よりも狭い。広くできないか？地主が用地を提供することも考えている。

- 水産課としては、判断は難しいとことです。（幅員3mのアスファルト舗装要望については検討しますが、難しいと思います。）

復旧までしかできないため、砂利敷きを予定しています。すれ違いできる待避所は現地を確認して整備する予定です。

テトラポットはどうなるのか？

- 再整備を進めています。新規の整備は難しいですが、沈下分は補強することで対応します。

漁港の照明はどうなるのか？

- 漁業協同組合と調整済みで、2箇所設置することになっています。

施工業者紹介：戸田・青木JVより挨拶。

（市長）タブノキを切ることについて同意いただきました。仮設道路についても今後協議していき、市道の幅員についても検討していきます。スケジュールが延びており、申し訳ありません。出来るだけ早くできるようにいたします。本日は、ありがとうございました。

以上